

事後評価結果（平成17年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
17-7	A S R劣化構造物 安全性能評価手法の開発	京都大学大学院教授 宮川 豊章	B
<p>< 研究の概要 ></p> <p>アルカリ骨材反応（A S R）に起因する構造物の劣化を適切に評価するために、コンクリートの品質特性、鉄筋破断量、コンクリートと鉄筋との一体性を評価項目として、それらを現地で簡便に評価できる非破壊検査手法、並びに補修・補強対策を選択する手順等を研究開発する。</p> <p>< 主な研究成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 超音波法によるコンクリート品質特性の評価手法の開発 ・ 電磁誘導法による鉄筋破断の評価手法の開発 ・ 非破壊試験方法によるコンクリートと鉄筋の一体性評価 <p>< 事後評価結果 ></p> <p>モデル実験および実構造物における計測を通して、提案された非破壊検査手法の有効性(限界)とその活用法を提案したことで研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。ただし、提案された開発技術の実用化には更なる検証が必要である。</p> <p>< 参考意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな開発というより既往の非破壊検査手法の組み合わせ検討という段階に留まっており、政策の質の向上への寄与という観点からは、期待された成果は十分に得られなかった。 ・ 提案された非破壊検査手法を今後実務で有効に活用するために必要な検証項目や解決すべき課題などを明確にし、本成果を踏まえた更なる研究と実務への応用が図られることを期待する。 ・ 提案された非破壊検査手法を実際の構造物に適用するには数多くの実測によるデータの蓄積を重ね、検出精度や信頼性の向上を図る必要がある。 			